

R32C/100シリーズ用R32Cシミュレータデバugga V.1.00 Release 00 ご使用上のお願い

R32C/100シリーズ用 R32Cシミュレータデバugga V.1.00 Release 00の 使用上の注意事項を連絡します。

- 拡張命令アドレッシングのバンク1レジスタ直接を使用する場合の注意事項

1. 内容

FLGレジスタのBフラグが"0"のとき、乗算および除算命令のdestオペランドに拡張命令アドレッシングのバンク1レジスタ直接を指定して演算を行うと、Bフラグが"1"になる場合があります。

1.1 発生条件

以下のどちらかの条件に該当する場合に発生します。

- (1)EMULおよびEMULU命令でdestオペランドにバンク1レジスタ直接を指定している。
- (2)EDIV、EDIVU、およびEDIVX命令で以下のどちらかの条件に該当している。
 - (a)サイズ指定子(.size)に".B"を指定、除数(srcオペランド)が"0"ではない、およびdestオペランドにR2Bレジスタを指定。
 - (b)サイズ指定子(.size)に".W"を指定、除数(srcオペランド)が"0"ではない、およびdestオペランドにR3R1Bレジスタを指定。

注記:

上記フォーマットの命令は、R32C/100シリーズ用Cコンパイラパッケージでは出力されません。したがって、本内容はアセンブラで作成したプログラムをデバuggされる場合の注意事項になります。

2. 回避策

該当命令実行後、FCLR命令でBフラグをクリアしてください。

例:

EMUL.B R1L, R0LB ; 該当命令

FCLR B ; Bフラグのクリア

3. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.